

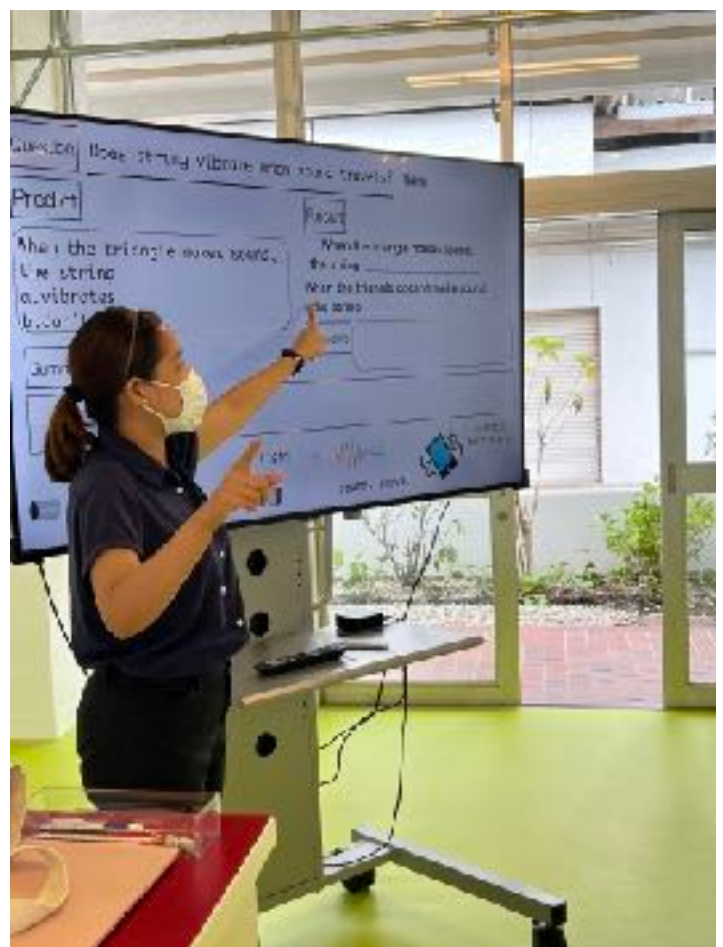
# Born Explorers

～幸せな子ども時代～

## 音を出して、調べよう！

理科の授業では、音について学習をしています。音が出る時の物の震え方について、今まで調べてきました。

今回の授業では、「音が伝わる時、音を伝える物は震えているのだろうか」という疑問について、調べました。糸電話の片方にトライアングルを結びつけ、音を鳴らしたときに、糸が震えるのか、という実験です。



今回の実験をするにあたり、前回作成した糸電話の片方を外して、トライアングルに付け替える必要がありました。しかし、前回せっかく作った糸電話を壊したくな

い！という思いから、両耳タイプの実験方法を思いついた子がいました。「これなら、前回の糸電話を壊さなくても今回の実験ができる！」と、他の子にも大好評です。想像力が豊かだからこそ、できることですね。授業の終わり頃には、この方法を多くの子が採用していました。



「糸の振動が伝われば音が伝わるなら、糸電話を2個合体させたら、4方向に音が伝わるのかな？」など、自分で疑問を見つけ、実験を発展させていく子もいました。素晴らしいです！

今回の実験で、音の実験は全て終了しました。キットをご家庭に持ち帰ります。針金を使った実験など、授業で扱わなかったものもあるので、お時間がございましたらぜひ、お子様と実験をしてみてください。